



2012年5月14日

生活習慣病指導支援システム 新「健康みらい予報」の CD-ROM を提供開始

～新たに HbA1c の項目を追加し、発症後の治療支援ツールとしても活用可能に～

サノフィ・アベンティス株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ジェズ・モールディング、以下「サノフィ・アベンティス」)は、一般社団法人久山生活習慣病研究所(所在地:福岡県糟屋郡久山町、代表理事:尾前 照雄、以下「久山生活習慣病研究所」)および株式会社野村総合研究所(本社:東京都千代田区、社長:嶋本正、以下「NRI」)が共同研究により開発した、生活習慣病指導支援システム 新「健康みらい予報」の CD-ROM を、本年 5 月より、医療従事者に対して提供を開始しました。

「健康みらい予報」は、久山生活習慣病研究所による久山町研究¹の結果を基に、2009 年に NRI が同研究所と共同で医師向けに開発した CD-ROM 形式のコミュニケーションツールです。このツールは、個人ごとの疾患の発症リスクを算出するとともに、特定の検査項目の値が上下したときの生活習慣病の発症リスクをシミュレーションすることが出来るものです(特許出願中)。

2009 年の開発以来、「健康みらい予報」は生活習慣病の改善のために活用されてきましたが、今回サノフィ・アベンティスは、そのツールに血糖値(HbA1c)² インジケーターと心筋梗塞や脳梗塞などの心血管病の発症レベルを予測する機能を付加した新バージョンを採用しました。この新機能により、医療従事者は、患者さんの糖尿病などの生活習慣病の発症リスクがどの程度あるかについての評価結果を患者さんと共有し、患者さんの糖尿病治療に対する理解の向上につなげ、改善目標を一緒に設定することが出来るようになります。

日本において生活習慣病患者は増加し続けており、特に糖尿病患者数は 2011 年に 1,067 万人を超え、世界でも 6 番目に多い患者数となっています³。また大規模国際研究によると、北米や欧州地域に比べ、日本は血糖値の管理状態が良くない糖尿病患者が多いことが報告されています⁴。さらに国内外の大規模調査⁵の結果により、血糖値が高い状態が続くと脳梗塞や虚血性心疾患という心血管病の発症リスクを上昇させることが医学的に知られており、糖尿病患者に対して血糖値管理の重要性を伝え、血糖値低減による心血管病リスクの改善について

1 九州大学と久山生活習慣病研究所の共同事業として、福岡県久山町(人口約 8,000 人)において 50 年以上にわたって続けている、精度の高い生活習慣病(脳卒中・悪性腫瘍・高血圧症・糖尿病など)の疫学調査です。1961 年以降の住民健診データをもとに、データベース化された疫学ビッグデータは、世界に類を見ない精度を誇っており、生活習慣病に関するさまざまな医学分野で注目されています。

(詳細は、<http://www.hisayamalife.or.jp/>)

2 過去 1,2 ヶ月の血糖値の変動の平均を表す検査値

3 国際糖尿病連合発行『Diabetes Atlas』第5版

4 CREDIT(the Cardiovascular Risk Evaluation in people with Type 2 Diabetes mellitus on Insulin Therapy)試験

5 JPHC 研究、Framingham Heart Study、UKPDS、EPIC-Norfolk 試験など

サノフィ・アベンティス株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー
www.sanofi-aventis.co.jp

サノフィ・アベンティスは、サノフィ・グループの一員です



意識を高めてもらうことが重要となっています。今回追加された「健康みらい予報」の新機能は、それらの重要性を訴える目的で設計されました。

サノフィ・アベンティスは、経口血糖降下剤とインスリン製剤の両製剤を提供する製薬会社として、今後も糖尿病患者さんやその予備群の方々が必要とされる情報を提供し、糖尿病のトータルケアに一層貢献してまいります。

サノフィ・アベンティスの糖尿病領域への取り組み

サノフィ・アベンティスは、日本の糖尿病領域において経口血糖降下剤とインスリン製剤を提供し、各治療段階における糖尿病患者さんに貢献する製薬企業です。経口血糖降下薬の主力製品として、2型糖尿病に使用されるスルホニルウレア系経口血糖降下薬(SU薬)「アマリール®」(一般名:グリメピリド)及び選択的DPP-4阻害薬「エクタ®」(一般名:ビルダグリプチン)と、1型および2型糖尿病を対象とする持効型溶解インスリンアナログ製剤の「ランタス®」(一般名:インスリングルラルギン[遺伝子組換え])及び超速効型インスリンアナログ製剤「アピドラ®」(一般名:インスリングルリジン[遺伝子組換え])を提供しています。サノフィ・アベンティスは2008年より、日本糖尿病協会の発展に寄与し、顕著な功績をあげた日本糖尿病協会の会員およびその関係者を表彰する、日本糖尿病協会「サノフィ・アベンティス賞」を後援しています。

また糖尿病の患者さんや一般の方に向けて、糖尿病の情報ウェブサイト「糖尿病がよくわかるDM Town」(www.dm-town.com)、「よくわかるインスリン」(www.dm-town.com/insulin/)を開設して情報提供を行っています。日本糖尿病協会とサノフィ・アベンティスが2006年より毎年実施しているHbA1c認知向上運動のイベントについても“DM-TOWN”(www.dm-town.com/hba1c/index2.html)においてご覧いただけます。

*エクタ®(一般名:ビルダグリプチン)はノバルティスファーマ(株)と販売提携を行っています。

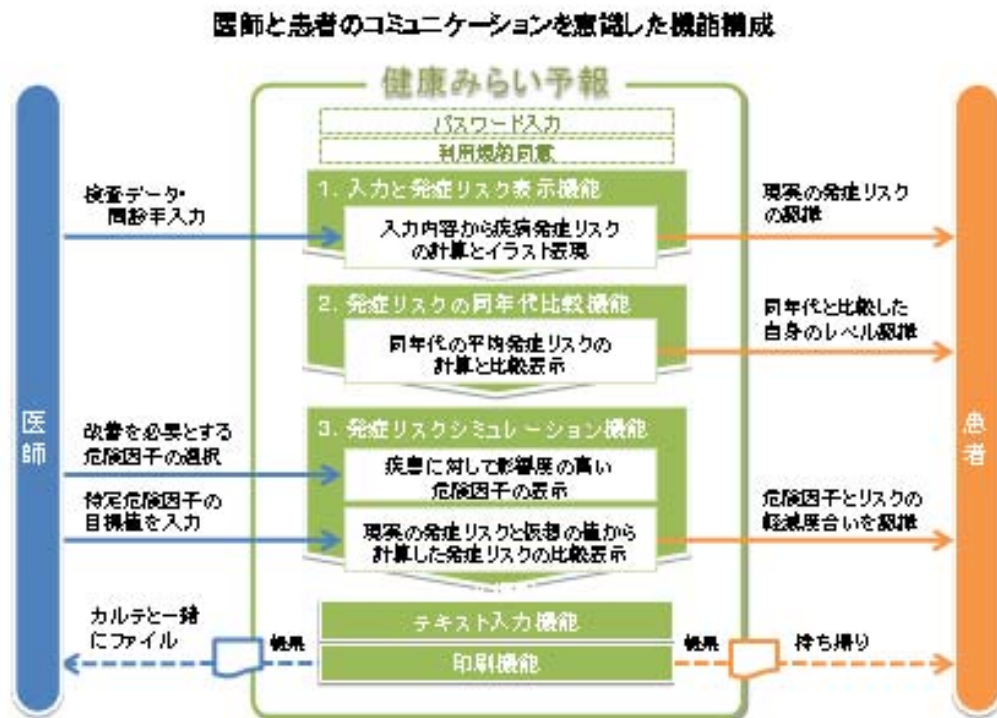
以上

別紙: 「健康みらい予報」の概要図
問診・検査結果入力画面
発症予測結果・シミュレーション画面



[ご参考]

■「健康みらい予報」の概要図



■ 問診・検査結果入力画面





■ 発症予測結果・シミュレーション画面

Adobe Flash Player 11

健康みらい予報

(一般社団法人 久山生活習慣病研究所 監修)

ヘルプ

数値を変えてシミュレーションしてみましょう

をクリックすると因子の説明を表示します。

入力値の心血管病の発症予測

発症予測レベル 同性同年齢比較 血管年齢

発症予測レベル 同性同年齢比較 血管年齢

シミュレーション値の心血管病の発症予測

発症予測レベル 同性同年齢比較 血管年齢

性別 男性

年齢 40 歳

収縮期血圧 112 mmHg

HbA1c値 (NGSP) 7.9 %

喫煙習慣 なし あり

HDLコレステロール 60 mg/dL

LDLコレステロール 140 mg/dL

総コレステロール mg/dL

中性脂肪 mg/dL

発症予測には、性別、年齢、収縮期血圧値、HbA1c値(NGSP)、喫煙習慣の有無、HDLおよびLDLコレステロール値を使用しています。

HDLまたはLDLコレステロール値のいずれかが欠損する場合には、総コレステロールと中性脂肪の値をもとにFriedewaldの式から算出します。

中性脂肪が400mg/dl以上の場合には、HDLまたはLDLコレステロールの値が正確に算出できていない可能性があります。

← 検査結果入力へ

印刷プレビューとメモ入力へ →

提供: サノフィ・アベンティス株式会社

Copyright © 2012 Nomura Research Institute, Ltd. All Rights Reserved.

スタート 3 W 2 M 2 M Ad... JP 100% 1733

以上